

OneLogin Access

全てのアプリケーションでアクセス管理を統一

断片化されたアクセス管理のリスクと非効率

今日、大部分の組織は、増加するSaaSアプリケーション、市販やオンプレミスのカスタムWebアプリケーション、リモートデータセンター、およびプライベートクラウドのポートフォリオの複雑な管理のため奮闘しています。

組織は、さまざまな環境、特にオンプレミスアプリケーションやSaaSアプリケーションなどのさまざまなアプリケーションへのアクセスを個別に管理することに挑戦しています。SaaSアプリケーションは安全なサインインの統合とユーザの同期化のためのSAMLやSCIMなど、頻繁なアップデートと最新の技術を利用します。一方、オンプレミスのアプリケーションには、カスタムまたは古い認証のメカニズムがあり、アクセスポリシー更新および自動化コントロールがない、時代遅れのテクノロジスタックが存在することがよくあります。

更に、これらのレガシーアプリケーションは、Webアクセス管理(WAM)ソリューションを使用して管理されることがよくあります。この場合、自社のアプリケーションは現代的でよく設計されていますが、SaaSアプリケーションのポートフォリオとは別に管理されており、アクセスポリシー、認証ファクタ、モニタリングなどは同じセキュリティコントロールとして連携されていません。

OneLogin Access

OneLogin Accessは、OneLogin Unified Access Management Platformの範囲をオンプレミス、リモートデータセンター、またはプライベートクラウドでホストされているアプリケーションにまで拡大することで、この問題を解決します。アクセス管理を簡素化し、ITコストを削減し、セキュリティを向上させ、ユーザーエクスペリエンスを最適化します。

管理スタッフは、OneLogin管理ユーザーインターフェイスとクラウドアプリケーション用APIを使用して、ソリューション構成とアプリケーションアクセスポリシーを管理します。運用が複雑で、維持管理に時間がかかり、クラウド環境とオンプレミス環境の両方のアクセスニーズに対処することができない、経年変化するアクセス管理ツールへの依存を排除します。

世界中のロケーションにかかわらず、商用、オープンソース、およびカスタムの顧客管理アプリケーションへのアクセスは、統合されたクラウドポータルからユーザーに提供されます。

従業員、パートナー、さらには顧客を含むエンドユーザーは、SSOポータルを通じてあらゆるデバイスや場所からSaaSとWebアプリケーションの両方にアクセスするための簡素化されたアクセスを体験できます。OneLoginは、セキュリティを強化し、多要素認証を介してアカウントを保護し、リスクベース認証で異常なアクティビティに自動的に対応します。

IT管理者のためのアクセス

- SaaSアプリケーションをサポートできない複雑なアクセス管理ツールを排除
- 1つのユーザーインターフェイスで集中型プラットフォームから全てのアプリケーションへのアクセスを管理
- フェデレーション、シングルサインオン(SSO)、およびリスクベース認証などの機能を備えたレガシーアプリケーションのアクセス管理の近代化

ITエグゼクティブのためのアクセス

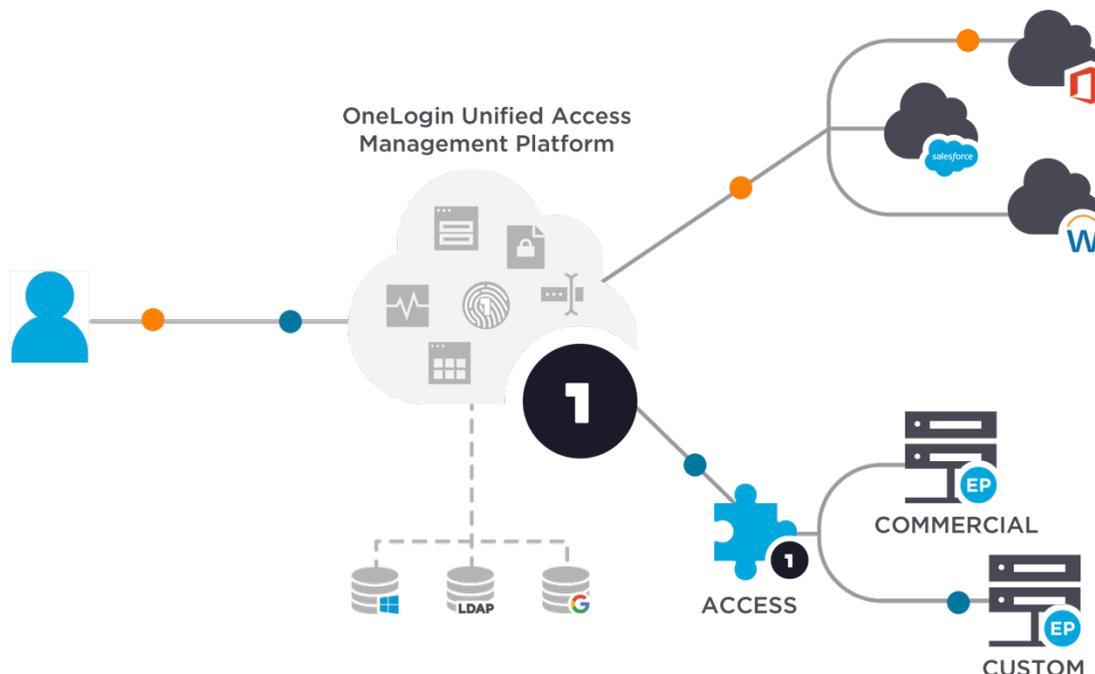
- 高価で労力を要する従来のアクセス管理ツールからの移行
- 従業員、パートナー、顧客がアプリケーションにアクセスするための単一のポータルによるセキュリティの強化
- アクセス管理ベンダーの統合と運用効率の向上

全て利用者のためのアクセス

- 任意のデバイスでどこからでも単一の安全なポータルを通じて全てのアプリケーションにアクセス
- 複数のパスワードを思い出す必要性を排除
- ダイナミックでリスクに適合した多要素認証

“OneLoginでSaaSアプリケーションとオンプレミスアプリケーションを統合することで、従業員のアクセスが簡素化され、グローバル顧客のビジネスクリティカルな業務をサポートする能力を合理化できました”

Mustafa Ebadi, カスタマサポート担当副社長 SOTI



OneLogin Accessの高水準アーキテクチャは、オンプレミス、データセンター、およびプライベートクラウドでホストされているアプリケーションにユーザーセッション情報とアクセス制御サービスを提供します。

OneLogin Access 仕組み

OneLoginのクラウドベースのUnified Access Management Platformは、組織全体の認証と承認のためのすべてのディレクトリ、ユーザー、およびポリシーの管理の中心です。

そのため、Unified Access Management Platformは、OneLogin Accessで管理および保護されるアプリケーションの設定、ポリシー管理、およびポリシー配布ポイントとして機能します。構成およびポリシーは、クラウドベースのOneLoginプラットフォームから、顧客管理アプリケーションへのローカルゲートキーパー(オンプレミスのサーバーに展開)などのエンフォースメントポイントに分散されます。

エンフォースメントポイント は軽量のOneLogin Accessソフトウェアコンポーネントで、Dockerコンテナなどの最新のパッケージとしてダウンロードおよび展開できます。OneLoginからダウンロードされ、アプリケーションが常駐するローカルネットワークにインストールされます。エンフォースメントポイントには、HTTPリバースプロキシ、またはApache、IIS、Java EEなどの顧客Webサーバーと統合するAgentのタイプが含まれるGatewayタイプのもがあります。

OneLogin Accessは、エンフォースメントポイントとクラウドベースの管理ポイントの組み合わせ、WebアプリケーションとUnified Access Management Platformを2つの重要な方法で接続します。

まず最初に、OneLogin Accessは、アプリケーション固有のアクセスポリシーを自動的にプロビジョニングします。それ以外の場合は、ポリシーは管理されたアプリケーションにローカルに手動で適用されます。

次に、ユーザーの認証および認可フローを標準化し最新化します。オンプレミスまたはクラウドのいずれの企業アプリケーションにも同じシングルサインオンエクスペリエンスを提供します。同じロールベースのアクセス制御ポリシーと、多要素認証やセキュリティイベントなどの高度なコントロールを活用します。

エンフォースメントポイントの各インスタンスは、OneLoginで一意的に識別されます。エンフォースメントポイントは起動時に自動的に登録され、セキュアにファイアウォールに接続しOneLoginから構成、ポリシー、およびソフトウェアの更新を自動的に取得します。

エンフォースメントポイントは、クラウド管理ポリシーに基づいてアクセスを制御および管理します。SAMLを使用した安全なサインインでOneLoginにリダイレクトします。エンフォースメントポイントは、OneLoginからのセキュアな認証レスポンス(SAMLレスポンス)を処理し、固定および非アクティブタイムアウトのアプリケーションセッションを作成し、Oracle E-Business Suiteなどのレガシーアプリケーションへのサインインを可能にするセキュアなHTTPヘッダーを設定します。

これにより、組織は、CASiteMinder®やOracle Access Managerなどのレガシーソリューションを、基盤となるメカニズムを模倣して自動化することで置き換えることもできます。ユーザーIDのHTTPヘッダーをSiteMinderのSM_USERに設定するなどの方法があります。

OneLoginは、一般的なレガシーアプリケーションの管理、および古いWeb Access Managementソリューションからの移行をサポートするプロフェッショナルサービスを提供します。